

●(仮称)教育委員会体罰根絶アクションプラン

(有識者会議の各提言は「議論のまとめ」概要版の記載順)

1 体罰が発生する背景・組織風土の課題									
有識者会議からの提言等			教育委員会としての取組						
議論項目	課題と改善の方向性や具体的な提案	着手済	着手予定 or検討中	提言を受けた取組の方向性	具体的内容及び取組工程				
					令和2年度	令和3年度	令和4年度～		
(1) 体罰に関する教員の意識、体罰を起こしたことそのもの、体罰を起こした後の対応	① 体罰は認められないという人権意識について	人権(「体罰」防止含む)研修徹底、児童生徒に対する指導スキルの向上やアンガーマネジメントに関する研修実施	○ 一部		<p>今後、教育委員会「体罰根絶プロジェクト推進本部」及び同作業チームにおいて、各提言毎に教育委員会(学校)としての取組の方向性の整理及び具体的推進スケジュールを管理し(一部着手済)、その進捗状況についてはホームページで公表する。</p>				
	② 学校管理職や保護者への適切な報告	服務に関する学校向け通知や「(仮称)部活動指導者ハンドブック」に、体罰が発生した場合に、学校管理職や保護者に対し適切に報告する義務があることを明記	○ 一部						
	③ 教育委員会及び学校版部活動方針の策定等	高校における体罰等の根絶方針等の必須事項を含め部活動方針を新設すること、中学校では既に策定されている部活動方針に、学校における部活動の意義等を盛り込むこと		○					
	④ 各部活動単位の部活動方針の策定等	教育委員会及び各学校が策定した「部活動の活動方針」を踏まえ、各部活動単位においても「部活動の方針」を策定等		○					
2 人事の仕組みや服務上の課題									
(1) 市立高校における教員人事の流動性の確保について	① 教員人事の流動性の確保	市内市立高校間の異動の活性化		○					
		県市間交流の活性化		○					
		他都市市立高校との交流の促進		○					
(2) 体罰行為を行った教員への対応	① 「指導から外す」際の指針の策定	指導からの除外指針の策定		○					
		悪質な体罰を行った教員に対する告発		○					
		顧問、監督とコーチ間の職責の整理など		○					
	② 体罰行為を行った教員への対応	体罰等ガイドラインの策定		○					
		尼崎市教育委員会懲戒処分標準例(市費教員版)の作成	○						
		悪質な体罰を行った教員に対する告発		○					
3 学校の危機管理から見た課題									
(1) 学校の危機管理体制の課題整理	① 各学校緊急対応マニュアルの見直し(「傷病者」の定義の記載含む)と周知・徹底	各学校で作成している緊急対応マニュアルを部活動にも対応した内容に見直しするとともに、「傷病者」の定義について、共通理解できるようマニュアル整備すること。また、全教職員に対し研修実施など、活用できる体制整備		○					
	② 救護義務違反をした教員に対する服務監督上の取り扱いの厳格化	授業や部活動指導から一時外した上で再教育を行ったり、懲戒の対象としたりするなど、その身分の取り扱いの厳格化についても検討		○					

4 教育現場への支援体制の充実										
有識者会議からの提言等				教育委員会としての取組						
議論項目	課題と改善の方向性や具体的な提案		着手済	着手予定 or検討中	提言を受けた取組の方向性	具体的内容及び取組工程				
						令和2年度	令和3年度	令和4年度～		
(1) 教員が教育活動に打ち込めるためのゆとりづくり	① 教員の働き方改革の一層の推進	部活動時間の制限や一定の休養日の義務付け		○	今後、教育委員会「体罰根絶プロジェクト推進本部」及び同作業チームにおいて、各提言毎に教育委員会(学校)としての取組の方向性の整理及び具体的推進スケジュールを管理し(一部着手済)、その進捗状況についてはホームページで公表する。					
		部活動指導員等の外部指導員の充実		○						
		部活動の在り方の再検討		○						
(2) 教員(顧問)の指導技術向上や萎縮防止等のためのサポート・相談体制	① (仮称)部活動指導者ハンドブックの作成・配布等	教員(顧問)が、困ったときの助けとなるよう、あるべき指導者像、脳震盪等の緊急時の対応の基礎基本等についてわかりやすくまとめたハンドブックを作成		○						
		② 大学院等への長期派遣等研修の実施	部活動指導に関する定期的な研修の実施や大学院等への長期派遣研修実施	○ 一部						
		③ 「(仮称)グッドコーチ賞」の創設	優れた部活動指導者に対し、教育委員会が表彰する仕組みを創設			○				
		④ 教員向け外部相談窓口の充実	いくしあ教育相談の活用など			○				
		⑤ 「いくしあ」と連携した取組の充実及びスクールソーシャルワーカーの積極的活用	「いくしあ」内の発達相談支援や、福祉関係部局との連携、スクールソーシャルワーカーの積極的活用により、児童生徒の理解に悩む教員への理解増進への支援等			○				
(3) 体罰防止研修の充実	① 幅広い分野にわたる研修の充実	体罰や子どもの人権、ハラスメント、アンガーマネジメントなどに関する研修を組み入れることや、市長部局実施の研修への教員の受入	○ 一部							
		② 研修成果の教育現場への還元		○						
5 スクールガバナンスと部活動										
(1) 学校管理職によるガバナンスの強化について	① 管理職と部活動顧問の権限と責任を明確化	管理職と顧問間の命令・受命・復命関係の徹底		○						
		顧問、監督とコーチ間の職責の整理など		○						
	② 管理職が部活動の状況を把握出来る仕組みづくり	管理職等による部活動の定期巡回		○						
		「(仮称)各学校部活動顧問会議」の設置		○						
(2) 児童や生徒達から学校管理職(又は教育委員会)に意見が言え、また、生徒主体で部活動の運営を考えることが出来る仕組みづくり	① 児童生徒(部員)からの相談体制の充実	担任以外の相談窓口設定(スクールカウンセラーなど)	○ 一部							
		尼崎市子どもの育ち支援センターの教育相談機能の活用(運用済)、中学校向けいじめ通報アプリSTOPitを市立高校への拡大		○						
		ネットでの体罰通報窓口、体罰や虐待にかかる事案を定期的に把握できるしくみ(アンケートなど)		○ 一部						
	② 「(仮称)キャプテン会議」の設置	各部の代表者が集まり定期的に情報交換を図る「(仮称)キャプテン会議」を設け、各部の課題を発見し、生徒による自主的な部活動の改善体制を構築する。		○						

有識者会議からの提言等		教育委員会としての取組					
議論項目	課題と改善の方向性や具体的な提案	着手済	着手予定 or検討中	提言を受けた取組の方向性	具体的内容及び取組工程		
					令和2年度	令和3年度	令和4年度～
(3) 部活動予算や備品等の実態からみたスクールガバナンスの課題	① 部活動にかかる適切な予算措置と適切な寄付処理		○				
6 開かれた部活動の実現							
(1) 部活動の指導体制の課題整理	① 顧問と生徒の閉鎖空間にならないために	「(仮称)部活動見学デー」の実施		○			
	③ 生徒がスポーツ指導の在り方について考える機会の確保	生徒自身が、スポーツ指導の在り方について考え、提言・発表する機会を作る		○			
(2) 市立尼崎高校体育科の教育課程の見直し	① 教育課程の見直し			○			
7 部活動等と保護者との適切な関係について							
(1) 部活動と保護者との適切な関係づくり	① 進路指導の生徒の自主性の尊重			○			
	② 不祥事等発生時の保護者対応の適切なあり方			○			

今後、教育委員会「体罰根絶プロジェクト推進本部」及び同作業チームにおいて、各提言毎に教育委員会(学校)としての取組の方向性の整理及び具体的推進スケジュールを管理し(一部着手済)、その進捗状況についてはホームページで公表する。